平成27年度　目標管理シート　（課別組織目標）

課かい名	障がい者支援課	課かい長名	上田　真二

組織目標

・障がい者の自立を支援するために「障がい福祉サービスの充実」を図り、「障がい者の雇用の場の拡大と就労支援」を行います。
・障がい者スポーツ大会の開催を通して、障がい者の社会参加を支援します。
・障がい者の社会活動を支える「ボランティアの育成」や、市民の障がいへの理解を促すために啓発を行います。

◎中間レビュー【中間進捗度】
ｓ：業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる成果創出につながる取組みも実施している場合
ａ：業務処理を予定どおりに実施している場合
ｂ：業務処理を概ね予定どおりに実施している場合
ｃ：業務処理を予定どおりに実施できていない場合
－：外的要因により予定どおりの業務処理が困難になった場合

※上記の判断は「目標管理制度の手引き」P16を参照の上、行ってください。

◎目標の達成状況【達成度】
ｓ：目標を上回る達成であった場合
ａ：目標どおりに達成することができた場合
ｂ：概ね目標を達成することができた場合
ｃ：目標を達成することができなかった場合
－：外的要因により目標達成が困難になった場合

※上記の判断は「目標管理制度の手引き」P17を参照の上、行ってください。

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等				変更内容	中間レビュー（10月1日時点）		目標の達成状況（3月末時点見込）		次年度に向けて（引継ぎ事項）	
	課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等		・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
障がい者支援課①	**障がい福祉サービスの充実** 健康福祉部④	①具体的目標	①障がい者に応じたサービス等利用計画案を作成する相談支援専門員のスキルアップを図る。 ②「障がい福祉ガイドブック」を最新の内容で作成し、市民への周知に活用する。 ③「保育所等訪問支援事業」を利用しやすい環境づくりを行い、利用者の増加を図る。	①八代市障がい者支援協議会の相談支援部会で研修会を開催し、八代圏域指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所の相談支援専門員に研修等の機会を提供する。 〇平成27年度に10回（5～2月）開催する。 〇内容は、障がい福祉サービスをはじめ成年後見制度や地域権利擁護事業などについて行う。 ②障がい福祉ガイドブックの内容をチェックし、最新の情報にしたものを7月に3,800部印刷する。 ③保育園や幼稚園、教育機関とサービス提供事業所との連携を図り、障がい児の保護者が保育所等訪問支援事業を利用しやすくする。 〇利用人数（H26）11人→13人		① 予定どおり実施している。5月から9月まで4回開催。1回目（5月）の研修会では障害福祉サービスについて、2回目（6月）は成年後見制度について、3回目（8月）は地域権利擁護事業について、4回目（9月）は難病当事者を招いた研修会を開催した。 ・10月から3月まで6回、DV被害者への対応などについての研修を予定している。 ②障がい福祉ガイドブックは、内容の点検に時間を要したため印刷が遅れ、納品に至っていない。 ・納品は10月9日の予定（部数は3,800部） ③5月に開催した障がい者支援協議会のこども部会で、H26年度末に実施した保育所等訪問支援事業などについてのアンケート結果を基に課題の整理を行った。 ・8月開催のこども部会で、事業の正しい理解の必要性、周知について検討を行った 。 ・相談支援事業所の相談員などから障がい児の保護者へ事業内容の周知を行っている。 ・月平均の利用人数は、H27年3月～9月で約15人と増加している。	b	①・5回目（10月）の研修会では「新規開設した3就労継続支援A型事業所の紹介と情報交換」を行った。・6回目（11月）では「DV被害者の相談と対応について」、7回目（12月）では「マイナンバー制度について」、8回目（1月）と9回目（2月）では「移動系サービスについて」の研修を行った。 ・研修回数は9回となったが、相談支援専門員のスキルアップにつながっている。 ②・障がい福祉ガイドブックを10月に3,800部、発行した。 ・内容の校正に時間を要したため、7月発行予定が10月となった。 ③8月のこども部会で保育所等訪問支援事業の周知方法について意見交換し、11月のこども部会で事業の周知用チラシを作成することを決定、2月のこども部会チラシの内容を検討した。 ・相談支援事業所などから障がい児の保護者へ事業の周知を行った結果、保育所等訪問支援事業の利用者が15人となった。	b	①具体的目標	・相談支援専門員のさらなるスキルアップを図るため、八代市障がい者支援協議会（相談部会）での研修を継続して実施する。 ・市ホームページなどで「障がい福祉ガイドブック」の活用を図る。 ・保育所等訪問支援事業の利用促進を図るため、チラシを作成し配布する。
		②課題、特記事項等	③保育所等訪問支援事業を利用しやすくするために、保育園などの関係機関へ事業の内容についてさらに周知を図る必要がある。							②課題・特記事項等	・著作権の関係で市ホームページから障がい福祉ガイドブックが印刷できないため、苦情がある。校正用に作成した内部のデータファイルを活用して、ホームページから同様の内容が印刷できないか検討する必要がある。
障がい者支援課②	**障がい者の雇用の場の拡大と就労支援** 健康福祉部④	①具体的目標	①障がい者就労支援事業所の新設を図り、障がい者の雇用の場を増やす。 ②障がい者雇用推進セミナーを開催し、障がい者を雇用する企業の開拓を行う。	①2か所の障がい者就労支援事業所の新設を推進する。 ②八代市障がい者支援協議会の就労支援部会で11月に「障がい者就労支援セミナー」を開催する。セミナーへの参加企業数が増加するように、市報やホームページなどで補助制度などの周知を行う。 〇実習受入企業数（H26）1社→2社 〇広報やつしろ11月号にセミナー開催と補助制度等を掲載する。 〇ホームページに補助制度等を常時掲載し、セミナー開催も周知する。		① 障がい者就労支援事業所（A型）が今年度3ヶ所新設し、新たに40人の就労が可能となった。 ②・就労支援部会で「障がい者就労支援セミナー」の講師や周知方法等を検討した。 ・企業への周知は、商工会議所などに加盟の企業1，300社へチラシを配布するとともに、市郡の企業約500社へ案内文を郵送した。また、広報やつしろ10月号にセミナー開催と参加募集記事を掲載した。 ・10月28日（水）に、やつしろハーモニーホールで開催予定。昨年の企業からの参加者は10名だったが、今年度は45名の参加申込があっている。 ・障がい者雇用における補助制度等は、広報やつしろ12月号やホームページに掲載予定。	a	①3か所の障がい者就労支援事業所が新設され、障がい者の雇用の場（40人分）を増やすことができた。 ②・10月に「障がい者就労支援セミナー」をやつしろハーモニーホールで開催した。 ・市郡の企業へのチラシ配布をはじめ、経営者会合での案内、広報やつしろや市ホームページなどでの広報活動により、昨年（54人）を上回る参加（99人）があった。 ・参加者へのアンケートでは、講演の内容が好評であった。 ・障がい者の実習受入は、アンケートで15の企業が「検討する」と回答。後日、確認を行ったところ、実習受入可が4社（他4社が検討中）、雇用可が1社であった。	a	①具体的目標	・障がい者の雇用の場を確保するために、障がい福祉計画に基づき、障がい者就労支援事業所の開設を促進する。 ・「障がい者就労支援セミナー」を引き続き開催し、企業からの参加者増と、障がい者の実習受入増を図り、障がい者の一般就労へつなげる。
		②課題、特記事項等	②障がい者就労支援セミナーに参加する企業が少ない。							②課題・特記事項等	・一般企業における就労の機会が広がりつつあり、就労移行支援事業所や熊本県南部障害者就業・生活支援センター、ハローワークの仲介により、障がい者の一般就労が進むことが期待される。

重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号		①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等	具体的目標を達成するための 具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
障がい者支援課③	**スポーツを通した障がい者の社会参加促進** 健康福祉部④	①具体的目標	・各種スポーツ大会を開催し、障がい者の社会参加を促進する。	・7月に「八代市いきいきふくしスポーツ大会」を開催し、障がい者などの参加を促す。 〇参加者数（H26）323人→360人 ・八代市障がい者支援協議会の社会資源部会で11月に「スポーツ交流会」を開催し、障がい者などの参加を促す。 〇参加者数（H26）75人→80人 ・今年度初めて開催される八代市民体育祭の障がい者スポーツ競技への、障がい者の参加を促す。		・7月4日に「八代市いきいきふくしスポーツ大会」を開催し、障がい者などの参加を促した。 参加者数：364人 ・八代市障がい者支援協議会の社会資源部会で、12月5日に太田郷公民館で「スポーツ交流会（風船バレー）」を開催予定で、障がい者などの参加を募集中。 ・市民体育祭の障がい者スポーツ競技（フライングディスク）について障がい者へ周知と参加を促した。 9月26日に開催され、46人が参加した。	a	・7月に「八代市いきいきふくしスポーツ大会」を市総合体育館で開催し、目標人数の参加があった。 ・参加者からは好評で、事故も無く、リフレッシュと交流の機会になったと思われる。 ・スタッフ反省会での意見要望を検討し、来年度に改善を図る。 ・12月に八代市障がい者支援協議会の社会資源部会によるスポーツ交流会（風船バレー競技）を太田郷公民館で開催し、目標を上まわる参加があった（112人）。 ・9月に市総合体育館で開催される市民体育祭の障がい者スポーツ競技（フライングディスク）への参加を、障がい者の集会などで呼びかけ、46人の参加があった。	a	①具体的目標	・「いきいきふくしスポーツ大会」を引き続き開催し、障がい者の社会参加の機会を確保する。 ・市民体育祭における障がい者スポーツ競技開催の周知に努め、参加者増を図る。
		②課題、特記事項等								②課題・特記事項等	・市民体育祭などスポーツの機会が充実してきたため、八代市障がい者支援協議会の社会資源部会によるスポーツ交流会は、27年度で終了することとなった。（28年度は、新たな社会資源の活用として、市内のボランティア団体の把握と周知活用に取り組む予定）
障がい者支援課④	**ボランティア育成と障がいへの理解啓発** 健康福祉部④	①具体的目標	①手話奉仕員養成講座を開催し、ボランティアの育成を図る。 ②市報や市ホームページに啓発記事を掲載し、市民の障がいへの理解を促す。	①手話奉仕員養成講座を、4月から3月まで毎週水曜日に開催する。 ②広報やつしろ12月号に障がい者福祉についての記事を掲載する。また、市ホームページの内容の充実を随時行う。		① 手話奉仕員養成講座を実施中（受講者：八代市1名、氷川町1名）。3月まで開催予定。 ・2月にFMやつしろで、次年度の募集案内を行う予定。 ② 広報やつしろ12月号に、障がい者への公的支援等についての記事を1ページ掲載予定。併せて、市ホームページにも掲載する。既に掲載中の啓発記事は随時、内容を更新している（成年後見相談会、無料法律相談会など）。	b	①・4月から3月までの手話奉仕員養成講座を開催し、2人が受講した。 ・平日昼間の開催のためか少人数となったが、最後まで熱心に取り組まれた。 ・参加者の1人は上級の講座受講を考えておられ、今後の手話奉仕員としての活躍が期待される。 ②・広報やつしろ12月号に「障がいのある人への生活サポート」のタイトルで、税控除や各種料金の割引、手当などについての記事を1ページ分掲載した。 ・市ホームページに掲載している啓発記事の内容更新をはじめ、「障がい者就労施設からの物品等調達のお願い」や「第4期障がい福祉計画」などを掲載した。	b	①具体的目標	・手話奉仕員養成講座を参加しやすい夜の時間帯に開催し、参加者増を図る。 ・「広報やつしろ」に掲載する障がい者福祉の記事を2ページに拡充する。 ・市ホームページや出前講座を通して、障がい者福祉の周知や障がいへの理解啓発を図る。
		②課題、特記事項等								②課題・特記事項等	① 手話奉仕員養成講座は、昼間開催などのためか参加者が少なかったため、開催方法の見直しを行う必要がある。 ・障がい者理解の啓発記事を他の広報紙に掲載できないか検討する。